

令和5年度 第2回東部地区教科用図書採択協議会 会議録(要旨)

I 期 日 令和5年7月18日(火) 9:00～16:30

II 会 場 鳥取市役所 本庁舎

III 出席者 採択協議会委員 10名 (欠席者なし)

IV 協議内容等

1 開会挨拶(尾室会長)

本日は、令和6年度に使用開始となる小学校の教科用図書の採択の具体的な段取りとなる。これまでの調査の結果について調査員の方からそれぞれ報告があるので、しっかり聞き取っていただき、適切な教科書の採択をしていただきたい。

全会一致での教科書の採択となるので、議論を尽くしたうえで、統一した見解をもつての教科書の選定となるようよろしくお願いします。

2 教科書採択について経過報告(事務局)

(1)令和6年度使用教科書の採択及び事務処理について

6月5日に調査員の全体会を開催し、その日以降、本協議会(東部地区採択協議会)が委嘱した55名の調査員による調査委員会を随時持ち資料を作成している。併せて、県の選定審議会も開かれ、資料をいただいている。

本日、本協議会として、令和6年度の小学校で使用される教科書を決定していただく。その結果を受けて、各地教委で教育委員会を開いて検討いただき、その結果を8月4日までに本採択協議会事務局に報告をお願いしたい。仮に各地教委の意見が本協議会の選定結果と異なった場合は、緊急に集まっていただいて再度協議をお願いすることになる。

(2)本日の協議について

本日の協議は、使用教科書の決定と採択理由について、各種目の調査員の代表が報告を行ったあと質疑を持ち、調査員退席後、参考資料等をもとに話し合う。慎重に審議を進め決めていただきたい。

全会一致で決定なので、その旨ご承知いただきたい。

(3)教科書展示会の結果について

○展示会でのアンケートを無記名で行っている。東部地区採択協議会開催の若桜町会場からは0件、岩美町会場からは3件の回答があった。

・「岩美町の小学校は、この教科書です」と貼ってあれば、なおよいと思った。来年も開催してほしいです。

・懐かしい教科書がありました。楽しかったです。

・絵がかわいくてとても見やすかった。6年生の社会の字が大きくて、中学校に行ったら慣れなさそう。

○県教委開催の展示会場(鳥取市、八頭町、智頭町)のアンケート内容について、鳥取市1件、智頭町1件の回答があった。

・もう何十年も前なのに自分の知っている作品が国語の教科書で取り扱われていたことと、インターネット関連の話が多く見られたことが時代の変化を感じられて面白かった

です。

というようなものが主な意見であった。

〈会 長〉このことについて、何か質問はないか。

〈全 員〉特になし

3 協 議（鳥取県東部地区小学校用教科用図書の採択）

(1) 国 語

〈会 長〉国語の調査結果について報告をお願いする。

〈調査員〉※報告（報告書のとおり）

〈会 長〉報告について質問等はないか。

〈委 員〉東京書籍の方で、批判的な思考について説明されたが、教育出版や光村図書のものはどうだったか。

〈調査員〉読み比べをおこなうという取り上げ方をされているのは、東京書籍だけ。それとは別の視点になると思うが、光村図書も教育出版も説明文の前に小単元のようなところでこんなこと勉強するんだと学んだ後、大きい本単元に入るという工夫がなされていた。

※調査員退席

〈会 長〉協議に入ります。委員の皆様もこれからご意見等ございましたらどうぞ。

〈委 員〉個別指導がしやすいという部分とか、言語事項を習得するということは、大事にしたい。

〈委 員〉国語の単元で他教科との関連性を大事にしたい。戦争にかかわっての平和教育というのに関するものが、きちんと位置づけられていることが大事。

〈委 員〉光村図書のヒントになる部分が多いというふうなコメントがあった。それはすごくありがたい部分である。

〈委 員〉国語で表現を深めるというようなところが、やはり大事にしたいところ。他教科との繋がり等々を含めて、SDGsというようなところを大事に扱っている光村図書に興味があった。

〈委 員〉国語だけではなくコミュニケーションの力ということを大事にするのに、言葉を大切にという部分は、少し光村図書がよく考えられている。

〈委 員〉光村図書がUDフォント等を使っているのは大事なこと。外国人に対しても配慮があるという意味で、いろいろな子供たちに与える教科書としては光村図書か。

〈委 員〉いろいろな文章を書くのにしてもすごくしゃべり言葉になってしまうなど、いろいろなことがあるので、基本のところはやはり、きちんと身につけてほしい。

〈委 員〉言語化する力を今、身に着けてほしい。そのところで光村図書の紹介が多くあったのでよいかと。

〈会 長〉もし、これ以上、ご意見がないということであれば、お諮りしたい。国語については、この光村図書ということで、皆さん、よろしいか。

〈委 員〉はい。

〈会 長〉ありがとうございます。

委員会で、国語については、光村図書で採択させていただきたいと思う。

この採択の理由だが、

「基礎的・基本的な内容を身につけ、それぞれの段階で言語活動例が扱えるよう、教材が系統的に位置づけられている。また、生活科や社会科、総合的な学習の時間等と関

連させやすい単元が多く、教科横断的な視点で扱いやすい。学習で身に着けた力を生かして、生活の中の課題を見つけて解決策を表現する単元構成となっている。用語解説等にマークをつけて示したり、巻末に学習に用いる言葉を表で示したりする等、言葉の力を重視し丁寧に扱っている。QR コンテンツの活用により全学年の言語事項を確認でき、個別の課題に応じた反復学習につなげられる。」でよろしいか。

〈全 員〉はい。

〈会 長〉ありがとうございます。

(2) 書写

〈会 長〉書写の調査報告をお願いします。

〈調査員〉※報告(報告書のとおり)

〈会 長〉今報告をいただいた。調査員の報告について、ご質問等あるか。

〈委 員〉光村図書の方でついている「書写ブック」は、生活の中に生かしていけそうか。

〈調査員〉光村図書は、1年、3年で、このスタートブックというのが教科書の中に入っている。書写の学びがわかるように、初めにまとめられている。

〈委 員〉各社とも、スタートにあたってやるべきことみたいなものはあるが、光村図書だけはそれに加えて6年間の学習のまとめの「書写ブック」があるということか。

〈調査員〉はい。わかりやすく。他のページの紙面は光村図書がすっきりしていて見やすいという特徴がある。

〈委 員〉すっきり具合というのはどれくらいか。

〈調査員〉一番丁寧な教育出版は、めあてからすべて書いてあって、細かくこうしたらいいよという、わかりやすさがある。光村図書は、見やすく、すっきりしていて大事なポイントだけが押さえられている。

〈委 員〉手書き文字のことについて、特に光村図書のところでは「手書きの力について考えさせる」というところで、他の2社よりも少し内容的に手書きについて、触れ具合が深いのかなと解釈するがどうか。

〈調査員〉「手書きの力」というページが光村図書にはあって、活字のよさも手書きのよさも書かれているが、そこまでというわけではない。

〈委 員〉東京書籍の中で、実寸大に近い写真で示してあるというのは、1年生か。

〈調査員〉1年生である。ここに1年生の手のサイズに合わせたような右利きと左利きと両方あって、手を置いてみたらちょうどいい。左利きの格好で置いてみてもちょうどよく、両方に配慮がある。

〈会 長〉どうか。

〈委 員〉子供たちの指導をしていて困るのは、特に穂先の通り道が難しい部分だと思うが、そういったところについての配慮というのはどうか。

〈調査員〉3社とも運筆動画があり、QRコードを自分たちのタブレットで読み取って見ることができ、どの会社もわかりやすくしてある。

〈会 長〉その他、ご質問。よろしいか。

※調査員退席

〈会 長〉書写の教科書について協議をお願いします。

- 〈委員〉東京書籍が、流れがわかりすっきりした紙面とあったが、やはりこの「書写の鍵」とか「めあて」とかポイントをしっかり押さえられている。
- 〈委員〉東京書籍の方で「足ペタ ピン トン」という言葉があって、これを1年生にやるのだが、どの先生もそれを使っている。先ほど左利きの子の対応もあって非常にいいのではないかと。
- 〈会長〉いかがか。
- 〈委員〉あえて変えるほど、各社に差がないのではないか。1年生において実寸大で、そこに手が置けるということが具体的で、教師がずっとついていなくても自分でできそうだと思う。
- 〈委員〉光村図書は、すっきりしていて見やすいなという印象を持っている。教育出版は、硬筆の部分に力が入っているような感じがする。東京書籍が、左利きの児童でも実寸大で説明してあってわかりやすくなっているところは、着眼点がいいなと思う。右利きの者からは気づかないところが左利きの方に配慮されているというところはすごくいいなと思った。持ち方とか姿勢について東京書籍がしっかりとわかりやすく解説してあるように思う。
- 〈会長〉いかがか。
- 〈委員〉書写の場合、鉛筆の持ち方も姿勢も1年生でどうスタートさせるのかということが大事。実寸大の見たそのままの手本があるというのはすごく大きいと感じる。やっぱり目で見てわかるということが大きい。
- 〈委員〉東京書籍の文字の組み立てや筆順、毛筆の筆先の通り道等々というところ、左利きの配慮等がしっかりとされているというところがよい。
- 〈委員〉東京書籍の日本の文字の歴史についても触れてあるページがあるのもよい。
- 〈会長〉東京書籍という声が多いのだが、違うご意見はあるか。お諮りしてもよろしいか。
- 〈全員〉はい。
- 〈会長〉東京書籍でよろしいか。
- 〈全員〉はい。
- 〈会長〉「書写のかぎ」では、単元ごとの学びのポイントが、また、「書写の学び方」では、課題を見つけ、確認し、生かすという学習過程が示されており、児童自らが考えて取り組めるよう工夫されている。硬筆での書き方について、右利き、左利き双方の書き方が実寸大に近いサイズの写真で掲載されており入門期の児童にとって分かりやすい。QRコードが全学年で用意されており、動画やシミュレーションにより学びを深められる。「文字にこめた思い」「筆にこめた思い」等、手書き文字が減る傾向にある現代社会において、文字への親しみをもたせる工夫がある。」でよろしいか。
- 〈全員〉はい。

(3) 社会

- 〈会長〉それでは、社会についての調査報告をお願いします。
- 〈調査員〉※報告(報告書のとおり)
- 〈会長〉ただいま報告いただいたが、委員の皆様、ご質問等あるか。
- 〈委員〉歴史的なものについていろいろわかってきているところがあるけれど、そういう面で見るときに、これは違わないかというようなものはなかったか。
- 〈調査員〉特にどの教科書に、これはと思うようなところはなかった。

〈委員〉「見方、考え方」というキーワードで記述があるが、東京書籍、教育出版では、どんな違いがあるのか。

〈調査員〉東京書籍はドラえもんというキャラクターでキャッチーな感じで伝えようとしている。教育出版は吹き出しの中が太字になっていた。東京書籍と教育出版は子供に寄った感じの出され方をしている。中身はそんなに変わらない。

〈委員〉ジャムボードの付箋を使ったものだが、これも一つの基本ツールのなものとして考えてもいかなと思うが、東京書籍の方もバラエティに富んだものがあるがどうか。

〈調査員〉東京書籍にフローチャートとかキャッチコピーなど、いろんなまとめ方が本当に多かった。

〈会長〉その他、いかがか。

〈委員〉東京書籍の場合は「つかむ」「調べる」「まとめる」が、1時間の流れのようにしているのだが、他のところはそういったようなところはどうか。

〈調査員〉他のところも基本的には載っているのだが、東京書籍が一番。つかむと、流れと、めあてが一体化して載せてあるので、わかりやすくなっている。

〈委員〉日本文教出版のキャラクターは全てにひらがなのルビがあるが、それは読みやすいか。それに社会の教科書は1ページの中にもものすごい情報量があるが、多すぎると子供の中にはもうそれだけで整理がつかなくなってしまう部分がある。読まれていてここまで必要ないという感じではなかったか。

〈調査員〉どちらかという名前がない方よりかは、読みやすいのは子供たちにとってもある方なのかなと思う。

〈会長〉他にいかがか。

〈委員〉例えば戦争についても、書きぶりが淡々と書かれているものだったりするのか、或いはそこを通して平和教育を進めていくとか、そういったところをつながりを持って書かれているとか、わかる範囲でどうか。

〈調査員〉教育出版は当時の写真がカラーになっているのでリアルに感じる。戦争のそのときの肌感覚は伝わってきやすかった。東京書籍は2冊あるメリットだと思うのだが、写真とか補助資料が多いので、戦争をいろんな角度から考えることができ、そういう面では充実しているように思う。日本文教出版は子供たちにとっては読みやすいかと思うが、比較すれば資料がやや少ない感じ。

※調査員退席

〈会長〉では、協議に入る。いかがか。

〈委員〉今の子供たちのランドセルは相当重たい。それで教科書をロッカーに置いて帰ることも必要と言われている状況の中で、5年生と6年生2冊になっているので、これは魅力的だと思う。

〈会長〉他にご意見はあるか。

〈委員〉発展的に学ぶというのが大事ところだと思う。資料活用の資料がとっても大事だなと思っていて、写真の適格な場面とかが見やすい。そういった点で東京書籍は魅力があると感じている。

〈委員〉東京書籍は、まとめる活動が一つの表現活動ではなくて、新聞や年表やプレゼンテーションといった様々な表現方法というところでも広がりを持つと思う。

〈会長〉よろしいか。

- 〈委員〉社会の中では、資料とかを使って自分たち考えていくことは大事なことです。東京書籍については多面的多角的に考えることができる資料がたくさんあるというようなこともあった。
- 〈委員〉いろいろなまとめ方があることが大事なのかなと思うと、東京書籍がいい。また、最近流行のインターネットなどに関して、使用する上での注意点とか危険性ということ学ぶ機会があるのは非常に大事だと思う。
- 〈委員〉東京書籍で「広げる」単元で学んだことをさらに広げて学びを深めるとか、つかむ、調べる、まとめる、生かすという段階的な学び方とか活かし方というところがあるというのはよい。
- 〈会長〉東京書籍の声が多いように思う。何かあるか。
- 〈委員〉教育出版の写真のカラー化について、子供たちがその資料をどれだけ自分事として自分とつなげてみるができるのか。AIを使ったカラーが、子供たちを引きつける工夫になっている。しかし、飛びつきだけではなく、そこからどう学習として流していくのかということ、東京書籍がいいと思う。
- 〈委員〉事実としては白黒。ただ白黒になると、過去の問題だというふうにとらえてしまって、今のつながりをいうのは難しいかもしれない。そこは先生方の力量にかかってくると思う。
- 〈会長〉それでは社会の教科書は、東京書籍ということでよろしいか。
- 〈全員〉はい。
- 〈会長〉社会の教科書は、東京書籍ということで採択する。ありがとうございます。
- 採択理由については、
- 「学びのポイント」では、本時の学習のポイントとなる活動を分かりやすく示している。また、1単位時間のページに「つかむ」「調べる」「まとめる」「生かす」の学習段階と「本時のねらい」が示されており、見直しをもって学習を進めることができる。資料が豊富で多面的・多角的に考えることができる。「ひろげる」コーナーがあり、単元で学んだことをさらに広げ、学びを深めていくことができる。巻頭にデジタルコンテンツ等を使用する際の注意点や危険性についても触れられている。また、思考ツール、クイズ、ウェブ資料等のQRコンテンツが豊富に掲載してある。」ということでよろしいか。
- 〈全員〉はい。

休憩

(4) 地図

- 〈会長〉地図についての調査報告をお願いします。
- 〈調査員〉※報告(報告書のとおり)
- 〈会長〉報告について質問等はあるか。
- 〈委員〉132ページと102ページと30ページの違いは大きな違いだが、調査委員会で統計資料とか30ページの違いをどう見られたか。
- 〈調査員〉一番大きな違いは、地図の入門の地図の使い方のところ。中学年の地図は約束などがわかりやすいように、大きな地図を使って説明をされている。東京書籍は、同じことなのだけでも小さい。帝国書院は後半の5、6年生の資料のところについては、比較しやすいような工夫もあり、またコンパクトにまとまっているという形。

〈委員〉資料については、どちらも差はないという感じか。

〈調査員〉統計資料も差はないけれども、帝国書院は矢印の太さで示していたり、それに比べて東京書籍はグラフが横で対比しやすいようになっていたり、それぞれ工夫はある。

〈会長〉その他、いかがか。よろしいか。

※調査員退席

〈会長〉では、地図について協議に入る。ご意見を願います。

〈委員〉見た感じ帝国書院の淡い色が見やすく感じる。それから地図が大きいのがいい。それから、3年生以上の漢字には、ルビがあるのがいい。地図を使うと1年生、2年生の漢字でも地名によって読み方がいろいろあるものだから、極カルビが振ってあるというのはいい。

〈委員〉地図は3年生からの段階で、大きい、見やすいというのがいい。学習の中で、すぐに地図に戻って調べてみようという教科との関連が図りやすいというのは、活用できるという意味で帝国書院がよい。

〈会長〉ありがとうございます。その他いかがか。

〈委員〉最初に地図帳に出合う子供たちからすると、ぱっと掴みやすいという面からいくと、やはりよく考えられているなと思う。

〈委員〉見やすい地図ということ、それから3年生で地図に出合うところが丁寧にできている。これは3年生だけに限らず、4年生以上でも振り返って使える。帝国書院がよろしい。

〈委員〉帝国書院はテーマに沿った地図と、比較、関連させて考察できるような資料が多数配置されている。国語や音楽でも活用できるように、構成の中に物語や音楽の舞台になったところなども凡例の中に設けられている。

〈会長〉他になければ、お諮りしたいと思う。それでは、帝国書院の地図ということでよろしいか。

〈全員〉はい。

〈会長〉ありがとうございます。

〈会長〉採択理由は、

「広く見わたす地図や目的別に様々な地図が掲載してあるなど、学年ごとに使いやすいよう工夫されている。各地域のページに、「地図マスターへの道」というコーナーがあり、学習と関連した問題に挑戦しながら、地図への関心を高める工夫や、学年・他教科等との関連を図れる工夫がある。QRコードでアクセスするデジタルコンテンツ内には、テーマごとの様々な地図や多くの統計資料があり、調べ学習等に活用できる。すべての漢字にルビがふってあったり、地図の色使いが薄く落ち着いていたりする等、見やすさ分かりやすさへの配慮がある。」ということでよろしいか。

〈全員〉はい。

(5) 算数

〈会長〉算数の調査報告をお願いします。

〈調査員〉※報告(調査書のとおり)

〈会長〉報告について質問等があればお願いします。

〈委員〉啓林館はQRコンテンツにより、全学年すべての導入の問題の解説を視聴することができるけれど、他の教科書はそうではないということか。

- 〈調査員〉他の学年まで見られるというのは確認ができなかった。
- 〈委員〉啓林館はスタートカリキュラムに対応しているということが書かれていた。中学校に繋がるような発展した内容について、具体的にわかる範囲で説明いただけたら。
- 〈調査員〉スタートカリキュラムというところでは、別冊で薄い冊子のものが、1年生の本来の厚い教科書とは別に付属してあった。学習がスタートするにあたって、1年生が特に勉強に苦手意識を持たずに楽しんで取り組めるようなものになっているのではないかと考える。
- 〈委員〉中学校の方との繋がりということではどうか。
- 〈調査員〉目次のところに全学年での表示とともに、中学校でこんなふうに関係していくという記載があった。
- 〈会長〉他にいかがか。
- 〈委員〉教育出版は3年生から数量関係のところをほぼ数直線図でかいてあった。啓林館は様々な図が取り扱われているが、その他の会社について、そのあたりはどうか。
- 〈調査員〉他の会社においても、数直線図以外にも例えば面積を求める際とか、分数の計算とかをする際の面積図というのがある。啓林館は数直線図とは別に、その隣に、例えば関係図が載っていたりとか、面積図が載っていたりという何か一つのものに対して複数の図が掲載されている。子供たちにとって扱いやすいツールを使っていくという意味では、啓林館にそういった特徴があった。
- 〈委員〉大日本図書と学校図書はプログラミングのことが書かれているが、他のところではどうか。
- 〈調査員〉東京書籍については4年生以上でプログラミング単元が設定されていた。大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、日本文教については、全学年にプログラミング単元が設定されていた。
- 〈会長〉他にはよろしいか。
- 〈委員〉読解力・表現力を育てる問題というのは、どういった特徴があるのか。
- 〈調査員〉そういった思考を促すような問題については、どの教科書にも大体載っているなという印象を受けた。
- 〈会長〉いかがか。よろしいか。
- ※調査員退席
- 〈会長〉では、協議に入る。どうか。
- 〈委員〉啓林館を見ると、ある場面ではこちらの図を使い、ある場面ではこちらを使いということだが、数直線図も記載してある。
- 〈委員〉コンテンツが非常に多いと児童の興味関心に沿った問題が可能になる。早めに適用題ができた子が習熟に応じて学習ができるのかなと思う。
- 〈委員〉いろいろな図が取り扱われているということで、子供たちが一つのとらえ方ではなくて、別の方法でもアプローチできる。様々な考え方が子供たちに養われるのではないかと感じた。
- 〈委員〉鳥取県が進めようとしている練習問題をぱっと切り上げて、個別に習熟に合わせて自分で適用題を解いていくといったスタイルには啓林館がいいのかと感じる。
- 〈委員〉啓林館には算数の二極化ということに対して、習熟度別にそれぞれに応じた問題がある。目的に応じてしっかりと取り組めるということが最終的にはいいと思う。
- 〈委員〉啓林館はぱっと見てめあてやまとめがわかるようにしてある。子供たちが自分で進めて

いく力がつきやすいと思うので、啓林館がよいかなと思う。

〈会 長〉啓林館の声が多いように思うが、お諮りする。啓林館の教科書というところでよろしいか。

〈全 員〉はい。

〈会 長〉採択理由は、

「本時の学習ごとに、「めあて」と「まとめ」の記載があり、学習内容が明確に分かるように配慮してある。様々な図を取り扱っており、多様な見方や考え方の育成が期待できる。QR コンテンツでは、全学年のすべての導入問題の解説動画を視聴することができる。また、巻末には、習熟度別、児童の興味や関心に応じた問題があり、予習や学び直し等、個に応じた学習を行ったり自主的に取り組んだりできるよう工夫されている。性別、人種、身体的特徴等様々なキャラクターを用いており、多様性に配慮してある。色の統一や見やすいレイアウトへの工夫がある。」でよろしいか。

〈全 員〉はい。

(6) 理科

〈会 長〉理科について調査員の報告をお願いします。

〈調査員〉※報告(報告書のとおり)

〈会 長〉報告をいただいた。ご質問等があればお願いします。

〈委 員〉理科では学年によって見方や考え方とか、比較や確率とかいったものがあると思うが、そのあたりで色濃く出ている教科書会社はあるか。

〈調査員〉どの教科書会社もそこは意識されていて、単元の初めだったり、教科書の始めに3年生に習得したい力とか5年生の学びとかに書いてあったりした。

〈委 員〉どの教科書会社も意識されているか。

〈調査員〉それはとても感じた。

〈委 員〉理科ノートというのは、どんなものか。プリントみたいに書いてあって穴埋めするようなものか。

〈調査員〉従来の鳥取市が小教研で取り扱っている「理科ノート」と同じような形にはなっていたけれども、教科書としっかりタイアップして見やすくなっている

〈委 員〉「理科ノート」は全体を印刷するのか、ワークシートのそのページを使ってみようかというようになっているのか。

〈調査員〉単位ごとになっている。すべて出したら理科ノートとなるかもしれないし、タイミングで全体になるのかもしれない。

〈委 員〉東京書籍も他の教科とのかかわりで、単元の学習時期がずれている可能性があるというのがあったが、わかる範囲でいいので。

〈調査員〉よくあるのは、5年生の算数の学習とかかわっている。初めに出了が、算数の学習では後に習うようになるので、その部分でずれがないかなというもの。

〈委 員〉色彩のことにに関して、十分でない教科書があったり、しっかり配慮してあったり、色覚の配慮があるなしで、子供たちに対する配慮にどのようなものがあるか。

〈調査員〉例えば、3年生の学習で銅線を赤い線と緑の線にしている。調べてみたのだが、緑は色覚に配慮のいる子にはわかりやすい。緑の線が黒い線に見えており、どっちをプラスにつなげるのかというのは具体的にわかっていく。

〈委員〉実験で怪我が起こることがある。教科書会社の中で安全面に配置する注意喚起に関しては同じか。

〈委員〉どの教科書も單元ごとに注意事項など共通することはある。教科書の最後にまとめてそれぞれの気を付けることを扱っているものもあった。

※調査員退席

〈会長〉ご意見を願います。

〈委員〉教育出版で思考力・判断力・表現力をつけるための実験・観察における代替案が示されている。あるいは実験結果や予想結果が成立しなかった例を示している。

〈委員〉提示されたものだけでなく別のもの確かめられるといったことは魅力的だ。ただ、啓林館については学びの連続性を大事にしている。特に子供たちが比較することができるつくりになっているところがよい。全国各地のジオパークが紹介してあるというのもよい。

〈委員〉理科は色が大切で、色によって判断するような試薬もある。また、自然の中にもいろいろな色がある。色覚に配慮があるというのは、啓林館という会社として意識がある。

〈委員〉啓林館の方が作ろうとしている教科書は、理科の有用性というものを何か伝えたいということであり、暮らしとどうリンクしていくかということ。

〈委員〉暮らしとリンクという部分で派手さはなくても、こんな風に自分たちとつながっていますというのが読みやすいと思う。

〈委員〉今日的課題というところで科学の視点での防災と自然、郷土の大地の成り立ち等にも触れているところがあるので啓林館がよい。

〈会長〉その他、ご意見があるか。みなさん啓林館という声が多いように思うが、お諮りしてよろしいか。

〈全員〉はい。

〈会長〉そうしますと、理科の教科書は啓林館ということでよろしいか。

〈全員〉はい。

〈会長〉採択理由は、

「QRコードを読み取ることで、既習事項を繰り返し確認し獲得できるようにしてある。理科を楽しむ見方・考え方を働かせる工夫として、ポイントとなる本文中の理科学用語に緑色のマーカー引きで視覚的に強調している。巻末の「みらいをひらくあなたへ」では、動画で現在活躍する人物のインタビューを掲載し、科学の楽しさや、将来に向かう学びや生き方を考えるきっかけづくりがなされている。見分けやすいオレンジ・青を中心とした色使いをしていたり、試薬を使った時の写真に文字でも色を表示したりする等、色覚への配慮が見られる。」でよいか。

〈全員〉はい。

休 憩

(7) 生活

〈会長〉調査員の報告をお願いします。

〈調査員〉※報告(報告書のとおり)

〈会 長〉報告について質問はいかがか。

〈委 員〉スタートカリキュラムとのところで10の姿に関連性ということが、いろいろあると思うのだが、何か一つこんなものというのがあるか。

〈調査員〉東京書籍は保育園の時代にこういう形でこんなことをしてきたよねということで、教科書と違う小さい冊子になっていて、1年生からさあ今日からするということではなくて、今までこういうこと学んできたよね、園では遊びだったよね、そのところから入る。

〈委 員〉生活科の教科書は、すごく家庭とのつながりというか、保護者さんへ啓発も含めた「一緒にやってみよう」というメッセージがあると思う。どの教科書にもあると思うが。

〈調査員〉どれも入っているが、入り方は単元ごとに入っていたり、小さく保護者の方へと書かれていたり、最初のページに書かれたりしている。東京書籍は「小さな気づき、大きな未来に」と保護者も一緒に読んでいただいて実生活に生かしていくことを示している。どの教科書もスタートカリキュラムということで出ている。ただ、大小はある。

〈委 員〉他教科との関連性はどういう感じか。

〈調査員〉だいたいどの教科書も最後の巻末に他教科との関連が入っている。それが「もっと広げよう」「学びのポケット」。これは教育出版なのだが、巻末に付録として「見よう、考えよう 国語・算数」「伝えよう 国語・音楽・体育・道徳」「道具を使おう 図画工作」というふうに子供たちにも見てわかるように視点が示してある。

〈委 員〉単元ごとにはないのか。

〈調査員〉この活動はここにつながるということで、一つの単元をとっても発表場面になったらこれは国語につながるとか、どの単元にもつながる教科はあるので活動ごとに書かれている。

〈委 員〉QRコンテンツがデジタル化の関係で入っているが、1年生などの使い勝手なんかはどうか。もう当たり前に見えるのか。

〈調査員〉意外に子供たちは早くて、写真のマークを押して、このQRコードに合わせると見られて、大画面にすれば1年生でも十分に使える。

〈会 長〉その他いかがか。

※調査員退席

〈会 長〉生活の教科書について協議に入る。ご意見を願います。

〈委 員〉スタートカリキュラムについて、幼児期の終わりまでに育てたい10の姿、就学前とのつながりというのは、どこの教科書会社も意識されているのかなと思っているが、「生活科の肝」の体験活動と表現活動を繰り返し、その辺がとても大切にされている教科書が東京書籍。際立っているのかなと思う。

〈委 員〉スタートカリキュラムとその前段にある幼児教育の中でのアプローチカリキュラムがきちんと編成の中で位置づけられているのが東京書籍の強みかなと思う。他教科との関連を考えたスタートカリキュラムが配慮されているというのも東京書籍の強みでいいかと思う。

〈委 員〉実物大だったり興味を引き出す資料であったり使いやすいと思う。

〈委 員〉大日本図書に書き込みができるというのが書いてあった。扱いという点で教科書に書き込んでいくというのはすごく子供たちにとって扱いにくいと思う。

〈会 長〉その他、いかがか。

〈委 員〉生活科は、実際に自分が探しに行ったり体験したりとか、そういうことが非常に重要であ

る。習慣や技能、学び方について東京書籍でいくつか触れているので、そういう意味ではいいかと。

〈委員〉東京書籍のダイナミックな写真とか、自分自身の関わりというところで保護者とのかかわりということが出ているが、そのあたり引きつけるところがあると思う。

〈会長〉ご意見はよろしいか。東京書籍という声が多いようだが、そうすると諮らせていただいてよろしいか。

〈全員〉はい。

〈会長〉では、東京書籍ということで採択をしてよろしいか。

〈全員〉はい。

〈会長〉採択理由は、

「入学後の生活科の学習活動が掲載されており、就学前のアプローチカリキュラムを引き継いで、適切にスタートカリキュラムが編成できるよう配慮されている。実物大の動植物を掲載した「いきものずかん」で気づきの質を高めたり、「かつどうべんりてちょう」で習慣や技能、学び方を身に付けられたりできる等、学習に役立つ資料が豊富にある。「つながる・ひろがる」が配置され、他教科で身に付けた資質・能力を生かす場面が例示されており、各教科との関連を図りながらカリキュラムを考えることができるよう配慮されている。」でよろしいか。

〈全員〉はい。

(8) 音楽

〈会長〉音楽について調査員の報告をお願いします。

〈調査員〉※報告(報告書のとおり)

〈会長〉皆様からご質問等あればお願いします。

〈委員〉鑑賞の教材は、この2社で差があったか。

〈調査員〉教育出版社で、鑑賞曲などとも絡めながら、SDGsであったり、世界の情勢というようなことについて膨らむようなことを感じるところがあった。

〈調査員〉鑑賞の時に子供たちに文字で書かせるけれど、あまり代わり映えしないような表現になりがち。聴く視点みたいなものはどうなのか、教科書会社で違いがあるか。

〈委員〉教育芸術の方では、二次元コードを読み取ると、鑑賞曲をそのまま聴けるのもあり、ワークシートもついており、それを鑑賞に役立てるような工夫もされていた。

〈委員〉「音楽のもと」という言葉は、教育出版の独自のものか。

〈調査員〉そうである。

〈委員〉これ県内で使っているね。

〈調査員〉今、こちらの教科書をつかっているので、確かに我々もよく使う言葉になっているかもしれない。

〈委員〉「学び合う音楽」というので協働的なマニュアルが示されているというのがあるが、それがどれぐらい出てきたかというのが、もしわかれば。

〈調査員〉「学び合う音楽」というのが全部の教材に載っていたわけではないのだが、音楽づくりにおいて、視点をもって語り合うとよりこの音楽づくりが深まっていくのではないか。そういう協働的というか対話的な内容の学びの例が示されていたと思う。

- 〈委員〉実物大の鍵盤ハーモニカ、リコーダーの写真は先生方はよく使うのか。
- 〈調査員〉そういうものが紙面にあって、いろいろ指示がしてあると、やっぱりその指導の方もしやすいし、実物大の方がすぐ本物の楽器に移行していけるかなと思う。
- 〈委員〉曲づくりというような単元もあると思うが、そういうものにICT を活用することができるのか。そういうものも入っているか。
- 〈調査員〉教育芸術社は二次元コードがすごく充実しており、映像とか曲を聞くだけではなくて、曲づくりとか、音楽づくりなどにおいても、使いやすいワークシートだったり、音を入力したりするようなものもあった。
- 〈委員〉いわゆるコンピュータミュージックみたいなコンテンツがあるというようなことか。
- 〈調査員〉そうである。教育出版は、主に鑑賞の近くにコンテンツがあるので、ワークシートを使うという面では、やはり教育芸術社の方が充実していると感じた。
- 〈委員〉教育出版の方が中学校で学ぶような内容も提示されており、発展的な扱いのようだが、それは必要感があるか。
- 〈調査員〉小学校の後半に習ったり、中学校で習ったりするような音楽の記号が入っていた部分だと思う。その時点では、すごい必要があるかと言われるとそんなに必要はないかなと思う。
- 〈委員〉鑑賞してその感想を伝え合ったりとか、音楽をつくったりする場面でも音楽の言葉を使う。教育出版の5年生には言葉をピックアップしたページがあるのだけれど、教育芸術社はどうか。
- 〈委員〉会話に使えるような音楽用語が単元にあるかということか。
- 〈調査員〉どちらも記号だとか、指標とか、音階とか、和音とかその辺りはしっかりとまとめてあるとも思う。
- 〈会長〉よろしいか。
- 〈委員〉器楽演奏の曲のセレクションについて、難易度は学年にぴったり合った、適切だなと思われる感じだったか。
- 〈調査員〉教育芸術社の方がレベルが高いのかなと思う。昔の教科書と比べると、どちらの器楽レベルも上がっているのかなとは思っている。
- 〈会長〉よろしいか。ご質問がなければ、これで音楽の説明を終わりとす。ありがとうございました。

※調査員退席

- 〈会長〉ご意見をいただきたいと思う。
- 〈委員〉音楽を聞くときに言葉の数が限定されていけると、イメージも狭くなってしまふ。だが、この教育出版には音楽を表す言葉が、全学年全単元出ている。またタイトルが「音楽の贈り物」というのもこの名前にわくわくした思いがある。
- 〈会長〉はい、ありがとうございます。ご意見を。
- 〈委員〉現場の声としては、この教育出版は難しいという先生方の声結構ある。ただし、教育技術社がもっと難しい。教育出版では「音楽のもと」という言葉を使っていて、随分そこがしっかりと子供たちや先生方の中には浸透している。
- 〈会長〉いかがか。

〈委員〉子供たちに支給されているタブレットの中にもともと入っているアプリでは、音楽づくりが広がり、さらに楽しめるためには十分かなあというところがある。

〈委員〉教科書でなく、教科書と別にか。

〈委員〉教科書とは別に、もともと何か入っている。

〈委員〉コロナ禍で感染防止のためリコーダー、鍵盤ハーモニカが吹けないことがあった。そのときにタブレットの中に入っていたアプリで指使いをチェックしていた。アプリには鍵盤があって押せば音が出るものだった。

〈委員〉それはiPadですね。

〈委員〉先ほどの話で、今はコンテンツもいろいろ載っていて準備の手間がいらない。

〈委員〉巻末に君が代が載っていたのだけれど、自分の国だけでなく、他の国の国際理解的なところが教科書にあるなど改めて思った。教育出版はすべての曲の作詞作曲にふりがなが振ってあり、作詞や作曲した人を大事する気持ちがうかがえる。

〈会長〉他にご意見があるか。

〈委員〉中身は、比べてそれほど大きな差はないが、言葉は大事にしないと。

〈会長〉よろしいか。教育出版という声が上がっているが、このあたりで、お諮りしてもよろしいか。音楽は、教育出版ということで、ご了解いただけるか。

〈全員〉はい。

〈会長〉採択理由は、

「単元で身につけるべき知識・技能の内容を「音楽のもと」として提示することで、学習に見通しを持たせるとともに、音楽を表す言葉を豊かにすることにより表現力の育成を図っている。また、思考したり表現したりすることは「まなびナビ」として提示されており、学習のヒントになっている。既習事項や関連事項へ誘導するマークが用いられており、学びを関連づけたり深めたりする工夫となっている。どの学年にも英語の歌を掲載しており、国際理解教育への視点が盛り込まれている。また、色使いやフォントに工夫があり、ユニバーサルデザインが意識されている。」でよいか。

〈全員〉はい。

(9) 図工

〈会長〉図工の教科書についての調査員の報告をお願いします。

〈調査員〉※報告(報告書のとおり)

〈会長〉ご報告いただいた。委員の皆様からご質問等をお願いします。

〈委員〉表現と鑑賞の配分が適切か。表現と鑑賞との関連性を上手く構成しているか。両者で何か違いがあるのか。

〈調査員〉どちらも表現と鑑賞が一緒になっている。特に日文の方は、目次にマークとして大事にしていることが示してあり、バランスよく配置されているのがよくわかる。開隆堂も配置は考えられてバランスよく入っているが、関わり方がわかりにくいかなという部分は意見が出ていた。

〈会長〉いかがか。質問等はないか。はい。どうぞ。

〈委員〉教科書の色、例えば、色が見えづらいという人もあるのだけれど、そういう方々に対する配慮事項みたいなものがあったか。

- 〈調査員〉どの教科書にも色の配慮が入っている。小さい学年の方は色の指導はあるが、特に今回特徴的なものはない。
- 〈委員〉日文に障がいのある人の作品づくりについての思いが出ているが、そういうものは開隆堂にも入っているのか。
- 〈調査員〉日文にも入っていたが開隆堂がやや多い。児童作品やユニバーサルデザインの部分も具体的な作品名が挙がっていたのは開隆堂が多かった。
- 〈委員〉日文にも入っているか。
- 〈調査員〉いくつか入っている。
- 〈委員〉写真の児童のマスクの件だが、授業されるときにそのマスクの写真は使えるか。
- 〈調査員〉一生懸命作っている様子は、マスクをしていても伝わってくるので、指導者としてもそんなにどうこうない。
- 〈委員〉支障はないということか。
- 〈調査員〉はい、支障はないと思う。
- 〈会長〉その他、よろしいか。
- 〈委員〉どちらの出版社についても、見方、発想の仕方について記載があるのだが、開隆堂はヒントとかで、日文は気づきがあるとか。何か違いがあるのか。
- 〈調査員〉基本的には、同じような意味合いで使っている。どちらもそんなに遜色ないと思う。
- 〈委員〉あまり方向づけしすぎてもどうかと。
- 〈委員〉県では県立美術館の話がある。美術館との連携みたいなことが日文にあるのだが、美術館に行って広がるというようなものは両方の会社にもあるか。
- 〈調査員〉両方の会社どちらもあるし、とても大事な部分。本当に実物に触れることも、直接見えなくてもやはりその場にあるものが見えるというのはものすごく効果が高いと思う。
- 〈委員〉日文にはその記述が書いてあるので、そのあたり特徴的なのか。
- 〈調査員〉開隆堂にもタブレット端末を使うことで、現地に行ったような映像がたくさん入っているものがある。
- 〈会長〉よろしいか。
- ※調査員退席
- 〈会長〉 そうすると、ご意見を願います。
- 〈委員〉音楽もそうなのだが「鑑賞」と「表現」は別々ではなくて互いにリンクされた形で、その辺が大事かと思って質問させていただいた。
- 〈委員〉配慮が必要な子にもわかりやすいという開隆堂はよいと思う。それから、解説動画では指導者の安全指導の基本が学びやすい。日文では、用具の必要な技能をどういう場面で使うのかということがわかりやすいと思った。
- 〈委員〉鑑賞というのは、学習として成立させるのがなかなか難しい部分があるのだけれども、特に高学年でこのミニアートカードというのが日文の教科書に付属されている。アートカードを基にして、自分の思いを語り合う学習が成立しやすいのも特徴かと思った。
- 〈委員〉木の加工のところでは、日文の方が基礎的な部分の資料として充実していると思う。
- 〈委員〉日文は、身の回り大自然、それから自然の造形美というのをすごく子供たちに気づかせたいというところがある。開隆堂が小さな美術館等で扱っているいろいろな作品素晴らしさから、子供たちが刺激を受けるのもすごく大事だなと思う。自分の生活の中に学びを

ずっとつなげようと思ったときには、やはり自然、身の回りの辺りがキーワードになるかもしれないと思った。

〈会 長〉皆さんのご意見から日本文教出版というようにしてもよろしいか。

では、図工の教科書については、日本文教出版で採択ということでもよろしいか。

〈全 員〉はい。

〈会 長〉採択理由は、

「表現と鑑賞をリンクして高められるよう構成に工夫がある。単元と単元の間には「図工をもっと楽しむためのページ」を配置し、身の回りの造形美への気づきを引き出す工夫がある。作品例を整然と配置し、マークを効果的に配置することで紙面構成をすっきりさせ、配慮のいる児童にとっても焦点が定まりやすくしている。巻末の「材料と用具の引き出し」では使い方を必要なものに限定し、写真やイラストの解説が分かりやすく掲載してある。また、QR コードの解説動画は、指導者にとっても安全指導の基本を学びやすい。鑑賞の学習に生かせる「ミニアートカード」がついている。」でよろしいか。

〈全 員〉はい。

(10) 家庭

〈会 長〉家庭科の教科書についての調査の報告をお願いします。

〈調査員〉※報告(報告書のとおり)

〈会 長〉報告について質問はいかがか。

〈委 員〉ワークシートが東京書籍に掲載というところで、開隆堂にはないか。すごく使い勝手がよいか。

〈調査員〉そうである。東京書籍のデジタル教材は、全員で書き込みができるジャムボードであるとか、また、1人の学びも全部すべて書き込みができる。開隆堂のワークシートは最後の振り返りをしましょうなどの巻頭と巻末の二つだけで、実は書き込みもできない内容になっている。

〈委 員〉使えると。

〈調査員〉みんなで使えるというところなので、一人一人の感じたことが、瞬間的に共有ができるので、協働的な学習であるとか問題解決的な学習には、こちらのワークシートの方が使いやすい。

〈会 長〉その他、いかがか。

〈委 員〉その他の中に登場人物が多様性と書いてあるが、それぞれ個々の人物に対する家庭のあり方みたいなことにも対応しているのか。

〈調査員〉一人一人の家庭背景というようなことは登場人物の絵からはわからない。開隆堂は、教えたことが満載で長い人生で1冊手に取るならこちら。東京書籍は「いつでもどこでも1人でも」というような形で、学ぶという形にはすごくいい感じ。

〈委 員〉関連してLGBTQに関わるものとか、男女共同参画とか、そういう視点はどうか

〈調査員〉生活時間を見直そうだとか、家族の役割というような辺りで、挿し絵にはお父さんが子供を迎えに行っている姿とか、お父さんも料理をしている姿というあたりが増えているなど感じた。

〈委 員〉どちらの教科書も。

〈調査員〉どちらも、はい。

〈委員〉開隆堂は課題設定へのサポートが充実している。東京書籍は問題解決型と書いてあるがどうか。

〈調査員〉東京書籍を見るとステップが「話し合う→考える→活動」となっていて、話し合うところが課題提起であり、自分たちで生活の中で生活課題を発見していきましょうという作りになっている。

〈委員〉東京書籍には学んだことを生活に生かすような場面が設置されている。開隆堂にも何か設定されているのか。それから、オンラインでの買い物ついでの取り上げ方について何か特徴があれば。

〈調査員〉開隆堂も、どの単元も最後に生かす、深めるというところがあり、実践へとつなげる工夫があった。東京書籍には一つ一つのマークがあり、すぐ関連の部分に飛べるような工夫がされていた。QRコンテンツがすごく豊富にあり、リンクが貼られているので学習しやすい。

〈委員〉東京書籍のこちらのコンテンツには、右利きと左利きに対応して変えるということが書いてあるが、開隆堂にはなかったか。

〈調査員〉そうである。そちらの方はない。

〈委員〉それと開隆堂のQRコードが途中で切れてしまう。

〈調査員〉それは重たいのか、本校でも別場所でも切れてしまった。重たいのかもしれない。

※調査員退席

〈会長〉ご意見をいただきたいと思う。

〈委員〉東京書籍のコンテンツが充実していて、いろいろなことがわかるというのはとてもいいと思う。また、最後にまとめのところがあって、いつでも開けるようになっており、わかりやすくまとめられている。開隆堂にもあるけれども東京書籍が見やすい。

〈委員〉デジタル教材に字幕がついているなど東京書籍がよりわかりやすくて深まりやすい。

〈委員〉担任1人で実習をするのが難しく、ボランティアの方をお願いしていたのだけれど、そういう意味でも、一人で学習に向かえ、探究できる東京書籍の「いつでも、一人でも」というのはおもしろい。

〈委員〉ミシンの使い方やボランティアの方がいらっしゃらなくても、デジタルコンテンツを見ながら実際のもの比べながら自分で糸をかけることができるようになれば、学習として進みやすい。東京書籍にそういったコンテンツがたくさん含まれているというのが、子供たちの学習支援になると思う。

〈委員〉オンラインの買物について東京書籍に出ていたのも、やはり普段の生活を全般的に考える時に、そういったフレーズもほしいと思う。

〈会長〉その他よろしいか。では、東京書籍という声が多かったが、これで採択に入ってもよろしいか。

〈全員〉はい。

〈会長〉家庭は、東京書籍でよろしいか。

〈全員〉はい。

〈会長〉採択理由は、

「単元構成が「話し合う→考える→活動→深める」と問題解決型の内容となっているため、

児童も教員も学習の見通しが持ちやすい。また、巻頭の目次が5、6年の2年間を見通した内容になっており、つながりが分かりやすい。デジタル教材が豊富で、知識・技能が実感を伴って習得しやすい内容になっている。また、字幕があることで、支援の必要な児童や外国籍の児童にも分かりやすい。巻末に「技能」がまとめられており、児童が繰り返し見直すことで、習熟が期待できる。他教科との繋がりも多く、学びの意欲や知識の広がりも期待できる。」でよいか。

〈全 員〉はい。

休 憩

(11) 保健

〈会 長〉保健の教科書について調査報告をお願いします。

〈調査員〉※報告(報告書のとおり)

〈会 長〉ご報告いただいたが、皆様から報告について質問があればお願いします。

〈委 員〉文教社は資料が大変多いということだが、写真とか、絵とか、グラフなどの資料は、学習を進める上でプラスになり重要か。

〈調査員〉教員の使い方次第になると思う。学習のねらいに沿って、教師が改めて資料を作らなくてその資料で活用できると考えるならば長所になるかなと思う。

〈委 員〉文教社の中に、体験談を多く取り入れ不安をなくすとあるのだが、具体的はどういったことか。

〈調査員〉3年生では二次性徴のところ、身近な男性、女性としてのお兄さん、お姉さんの話が出てくるところがある。また、お父さん、お母さんもある。思春期の心の発達のところ、友達だったり、体験談的に紹介されたりするのは特徴かもしれない。

〈委 員〉今日的な課題というようところでSDGsだとか、性の多様性のところが触れられている。文教社では新型コロナウイルス感染症を取り上げていたが、文教社以外には記述がなかった。特徴としてとらえられるということか。

〈調査員〉新型コロナウイルス感染症のことが明記されていることは文教社の特徴である。

〈委 員〉文教社は「もっと考えよう課」というところで新型コロナウイルス感染症について結構詳しく扱っている。まだまだ感染者数が増えているような状況もあるので特徴的なところだと思った。

〈調査員〉はい。特化したのは文教社の特徴だったかなと思う。

〈会 長〉いかがか。

〈委 員〉教材の扱いで、教科書が3、4年生で1冊、5、6年生で1冊というような学年を通してとなっているけれど、文教社以外は学年ごとになっている。これはどうか。

〈調査員〉グループの調査員からこのことについては意見がなかった。

〈委 員〉内容は全く感じなかったので、扱い方なので。

〈会 長〉他にはよろしいか。

〈委 員〉保健の学習は数少ない持ち時間の中で学習をしていく。資料が盛りだくさんで選択的に

子供の興味関心で複線的な学びができるのが文教社の特徴かなと思う。みんなが一斉に学習という単線的な学び以外に、複線的な学びができるような作りをしている教科書は他にもあったか。

〈調査員〉学研とか、光文というのは、ワークシートも合体しているような形なので教科書の中にたくさん記入欄が作ってあり、そのまま書き込んでいける。文教社は、そういうワークシートがコピー資料みたいだったので、書くところが他社と比べると少ない。その分、資料が多いという部分が特徴。

〈委員〉学びのスタイルについてはどうか。一斉学習として皆が資料を使って一つの課題に向っていくとか、子供たちが資料を使ってそれぞれ自分の課題に向かって探究していくということも提示されていた。そういう学びというのは他の教科書会社にあるか。

〈調査員〉他の教科書会社は単元の終わりに、いろんな資料がまとめて入れてある。文教社は、単元の終わりというよりも随所にある。どちらがよいかは、指導者によるのかと思う。

〈会長〉いかがか。

※調査員退席

〈会長〉そうするとご意見をいただきたいと思う。どうか。

〈委員〉学研だと学習内容を実生活とか自分の生活に生かすページがある。文教社は、単元の終わりに「わたしの〇〇宣言」というような場面が設けられているのは特徴的な取り組みとなっている。

〈委員〉保健の学習については、知識の習得が非常に重視されていて、文教社の資料や説明等がわかりやすく、理解すべきポイントがきちんと書かれていた。宣言として学習を振り返って、実際どう生かしていこうかと考えるということは重要。

〈委員〉中四国大会の実践発表にあるような成果が生かされている。中国地方とか四国の地域に根差した資料だと思う。

〈委員〉学習をしたことがいかに普段の生活に生かされていくかがすごく大事になってくる。将来の自分に向けてという部分の意識づけという点だと文教社が強い。

〈委員〉文教社は学習のめあてが毎時間示されていて、まとめてミッションになっていて「もう一歩先の自分へ」というような次を意識させる並びになっている。そのため、宣言と合わせて、自分の生活に生かすというところが取り込みやすい流れになっている。

〈会長〉文教社の声が多いようだが、よろしいか。

それでは、保健の教科書については、文教社でよろしいか。

〈全員〉はい。

〈会長〉採択理由は、

「グラフ、写真や絵、成長過程の説明など資料が充実しており、様々な資料を活用して多角的に学びを深めることができる。「ここが大事」「ちょっとまった」のコーナーにより、ポイントを押さえたり、考えを深めたりすることができる。単元の終わりに「わたしの〇〇宣言」として学習を振り返り、生活で生かすことをまとめる構成となっており、生活実践につなげる工夫がある。「もっと知ろう課」のコーナーにあるQRコードを読み取ると、さらに知りたい情報にアクセスし発展的に学んだり、現在の自分や将来の自分にとってという視点で自分事として考えを深めたりすることができる。」でよいか。

〈全員〉はい。

- 〈会 長〉それでは、英語の調査員の報告をお願いします。
- 〈調査員〉※報告(報告書のとおり)
- 〈会 長〉委員の皆様、そうすると説明についての質問をお願いします。
- 〈調査員〉東京書籍の最後になぞり文字が小さい矢印になって筆順がわかりやすいとあるが、各社、文字を書くことについての何か特徴的なものがあるか。
- 〈調査員〉東京書籍は4線の幅が変えてある。ノートだと全部一定の4線になっていると思うが、上から2番目と3番目の間が広めにとってあるという特徴があった。もう1社、光村図書も4線の幅が変えてあった。
- 〈委 員〉東京書籍ではPicture Dictionary が既存のものとはほぼ変わらず、各学校での新しいカードの準備とか負担が少ないとあるが、他の会社では負担になるということがあるのか。
- 〈調査員〉それぞれの学校では、今、使っている教科書でカードを作っている。ただ、本校でも今の教科書になる前の絵カードを使っていたりするので、同じでないといけないということでもない。
- 〈委 員〉東京書籍で現行のものと違って入ってきた Sounds & Letters は、いいか。
- 〈調査員〉現行のものもあるのだが、現行のものは巻末にまとめて入れてある。この学習は、この単元のこのページの辺りと書いてあるのだが、巻末にいかなくても中の方に入ってきているということ。
- 〈委 員〉開隆堂にはパフォーマンステストのヒントになるページがある。そのパフォーマンステストは、この開隆堂に何か特徴があるということか。
- 〈調査員〉そうですね。流れに従っていくと、学習した表現を使って力試しをしてみようかというところが途中に出てくる。
- 〈委 員〉問答集ではないのだが、先生がまず質問をするという感じか。
- 〈調査員〉問答集ということでもないのだけれども。
- 〈委 員〉本当にパフォーマンステストの1から10までというか、やり方がずっと教えてあったりとか、この単元だということを聞くといいですよとか、そういうことが書いてあるのかなと。
- 〈調査員〉というよりも、先生とこういうやりとりをしてみようというような。
- 〈委 員〉これが開隆堂に感じられる特徴という感じか。
- 〈調査員〉はい、特徴として。
- 〈会 長〉ご質問あるか。
- 〈委 員〉はい。先ほど Dictionary、別冊の辞書という資料がつけられていると書かれていたのだが、こういったものは何社が作られていると思うのだけれど、使い勝手はどうか。
- 〈調査員〉別冊になっているものと、巻末に全部入っているものがある。1冊あれば何でも見えるというよさがあると思う。別冊は別冊で見てみようかということで促していけば、子供たちも見ると思う。
- 〈委 員〉東京書籍はスモールステップで活動に取り組むというが、外国語と外国語活動は繋がってきているところも多分にあると思う。苦手にしている子もあり、取り組める子は取り組めているのだが、苦手にしている子はスモールステップがすごく大事になってくる。そういう

面でいくとやはり東京書籍のものが特徴だったということか。

〈調査員〉東京書籍はこの1ページでという感じではなかったけれども、この中でいろいろ書き込みながら考えていこうという印象があった。

〈委員〉東京書籍の中にゴールが設定してあるという話をされていて、やはり子供にとって、どんな姿でこの単元を終わったらいいか、どういうことができるようになったら、この単元をよしとするかというのはとても大事なことだと思う。他の教科書でゴールは、違いというはあるか。

〈調査員〉東京書籍は、動画で最後の姿を見えるようになっていて、それは確かにこういうふうな姿だよということを授業でも見せるし、わかりやすいし、自分たちもこんな感じだなというのがわかるというところはある。実際の動画でその姿がわかるというのが東京書籍。

※調査員退席

〈会長〉では、協議に入る。英語の教科書についてご意見をいただきたいと思う。

〈委員〉ゴールをQRコードできちんと見える、聞ける、こういうことが具体的でわかりやすいのが東京書籍では思った。それから、書くところに非常に抵抗がある子が多くなっているのではないかと。そういう意味で書き込みながら学習していける流れの東京書籍でいいのではないか。

〈委員〉啓林館は、誰に対して伝えていくのか設定されているため、関心意欲を持って自分の表現について工夫を促すと報告書に書いてあるので、ここに惹かれる部分がある。ただ、東京書籍は各学校での新しいカード準備に負担が少ないというところも、学習を進めていく上では大事なところになってくると思うので、東京書籍がいいと思う。

〈委員〉東京書籍は書くのは少しだけど、すごく印象に残るといふふうに考えたら、大きさとか、同じ幅ではなく少し広げて、意識できるようにしておくというようなあたりの工夫がすごいと思う。

〈委員〉外国語は、最終的にはアウトプット。学んだことを外に向かって発信できる活動的なことが東京書籍にきちっと配慮されて作られている。発表する活動が設定されていること、思考ツールという手立ても準備されているというのはいい。

〈会長〉東京書籍という声が多いですが、お諮りしてよろしいか。

〈全員〉はい。

〈会長〉そうすると、英語の教科書は東京書籍でよろしいか。

〈全員〉はい。

〈会長〉ありがとうございます。採択理由については、

「単元の当初に Our Goal の動画を視聴することにより、単元の終わりにアウトプットする表現活動の姿を想像しやすい。それにより、目的意識をもって活動に取り組むことができ、毎時間の表現の獲得につなげることができる。単元ごとの Sounds & Letters や CAN-DO リスト、3単元ごとの学びを確かめるコーナーの設定により、自分の実態を確認しながら技能の定着を図ることができる。なぞり文字を小さい矢印にしたり、四線の幅に変化を加えたりすることで、アルファベットを書く際に筆順や手書きの文字の形を意識して正確に書くことができるよう工夫されている。」でよろしいか。

〈全員〉はい。

(13) 道徳

〈会 長〉道徳の調査報告をお願いします。

〈調査員〉調査報告(資料のとおり)

〈会 長〉報告をいただきたいが委員の皆様、いかがか。

〈委 員〉キャラクターが登場しているところがあるが、デメリットの方では学習の方向性が限定されるということ。いろんな価値というか、多様な子供に寄り添うことができたり、いろんなことが考えられたりするよう、うまく使っているところはないか。

〈調査員〉光村図書であれば、もやもやとするようなことを投げかけてくれるキャラクターもいる。「本当にこれは正しいのだけれど、できるかな、みんな」みたいなものがあり、そういう問いかけがすごくありがたいと思う。ただ、あまりにもしゃべり過ぎていたりするので、方向が引張られているかなあというのは思った。

〈委 員〉その中で6年間成長するようなのは、学研か。

〈調査員〉学研の場合は、あなただったらどうするとか、自分だったらどうかなという発問も結構多く準備されていて、自分を通して考えるということではできるのかなとは思った。

〈会 長〉その他には、いかがか。

〈委 員〉道徳ノートというのは、どんなものか。

〈調査員〉すべて絵日記ふうな感じで作られているが、教材名はすべて書かれている。ついていたのは日本文教だけ。ノートはそれぞれの学校でいろいろ考えて作っておられるかなあとは思っている。

〈委 員〉教材の数はどれも35本か。

〈調査員〉どれも35の内容項目がすべて入っているが、プラスでついているものがある。

〈委 員〉子供たちの心が揺れるだとか、葛藤するだとか、答えのない哲学的な考え方を楽しむとかは、出版社に限っての特徴的なものなのか。どの会社もこうしたものがしっかり準備されているのか。

〈調査員〉かなり準備されている。各社だいたい同じような感じになってきている。

〈委 員〉鳥取県の教材を使っているということは学研だけだったか。

〈調査員〉はい。委員で見たときはそうだった。

〈委 員〉それぞれ会社が作られたものが、違うものもあれば、同じものというのものもある。教材を読み比べて、ちょっと違うよというようなことはあったか。

〈調査員〉特徴的だったのは学研かなと思った。大体は、気持ちを考えることが多いのだけれども、「あなたはどうしますか」というような発問が入っていた。

〈会 長〉よろしいか。

〈委 員〉東京書籍を見ると「心内語が多く使われているので、考える幅が狭まる」とあるが、登場するキャラクターが自分の心の内をしゃべって、子供がそれに同調してしまうというようなことか。

〈調査員〉そうである。考えるところがなくなってくる。どの会社もあるのだけれども、それがちょっと多いかなあということが出てきた。

〈会 長〉はい。どうもありがとう。

※調査員退席

- 〈会 長〉そうすると、最後の道徳についてご協議をお願いします。
- 〈委 員〉学研は、鳥取の教材が使用されており、県の資料等にも実話も多いと書いてあったので、自分の生き方を考えていく上では役立つことも多いのかなと思った。
- 〈委 員〉鳥取の教材等は学研かなと。そして、先生の方向性が引っ張られないこと。子供たちの考えが狭められるというのはあまりよろしくないのかなと。多様なものの考え方をという観点から、今の自分を振り返ることができる教科書ではないかなと思う。
- 〈委 員〉あまり方向性が定まらないほうがいいのかというふうに思う。ただ、授業をする者にとっては、いっぱい示してある方がやり易いかもしれない。そこは、これまでの蓄積の中で対応できるのかなと思っているので、学研がいいのかなと思う。
- 〈委 員〉資料を見ると「多様な捉え方や考え方を引き出す」とか「主題名とかテーマは、本文冒頭に掲載せずに題名と抽象的な言葉が掲載されている」というようなことで、多様な考え方や捉え方など、そういう工夫をされているということで学研がいいのではないかなと思う。
- 〈委 員〉学習の方向性が引っ張られないというようなところはやはり、多様な考えを引き出すところで重要ではないかなと思う。心のパスポートとか深めようというところで自分の課題を見つけて思考を深めるということも見られる。鳥取の題材が使用されているところも合わせると、学研がいいのかなと思う。
- 〈委 員〉学研は、自分が学習を決めていく上で自由度があると思う。この教材を使って、この子供たちに何を感じ取らせたいとか、生きる力を生活の中でつけてほしいので、扱いの自由度という点で学研。
- 〈会 長〉皆さん学研を押されているようだが、最後によろしいか。
- 〈委 員〉教科書で鳥取の題材が使用されることはそんなに見かけない。やはり、郷土愛というところを育む意味でも、せっかくそういう教材が使われているなら、これは使わない手はない。
- 〈委 員〉県内の元校長も執筆者の1人。県内の人間が作成に携わったという意味合いからも引き続き使ってほしいなと思う。
- 〈会 長〉どうやら道徳の教科書は皆さん全員学研ということで、学研で採択というところでよろしいか。
- 〈全 員〉はい。
- 〈会 長〉採択理由は、
- 「教材名の下に教材に中に出てくる象徴的な言葉が提示してあるため、教材へのスムーズな導入ができる。発問の例が少なく、シンプルであるため、学習の方向性が引っ張られず児童の実態に応じた展開をすることができる。鳥取の題材が使用されているため、児童が興味をもって学習に取り組んだり、郷土愛を深めたりすることができる。「こころのパスポート」と「深めよう」のコーナーは、自分の課題を見つけ思考を深める手助けとなっている。カラーユニバーサルデザイン、ユニバーサルデザインフォントが使用されており、多様な児童の実態を配慮する視点がある。」ということでよろしいか。
- 〈全 員〉はい。

4 連絡（事務局）

- 〈会 長〉それでは、確認をする。国語は光村図書、書写は東京書籍、社会科は東京書籍、社会の

地図は帝国書院、算数は啓林館、理科も啓林館、生活科は東京書籍、音楽が教育出版、図工は日本文教出版、家庭科は東京書籍、保健が文教社、英語は東京書籍。そして道徳は学研と、以上よろしいか。すなわち、すべて現行のもので決定した。ありがとうございました。

〈事務局〉今日は長時間にわたりありがとうございました。では、今後の予定についてこちらから確認をさせていただきたいと思う。本日の採択結果を受けて最終的には、各地教委における教育委員会で採択教科書を決定していただくことになる。採択結果については取り急ぎ各地教委教育長宛にメールで送付させていただこうと思っている。

それを受けて各地教委で教育委員会を開催し、決定させていただきたいと思う。期限の方は、8月4日までに事務局、鳥取市教育委員会の方へお知らせいただき、そして8月9日にその結果を逆に各地教委の方へ連絡させていただこうというふうに思っている。

2つ目だが、採択協議会の方は8月31日で終わりとなるので、9月1日より採択結果等を公表すること、公開することになる。公開場所は採択協議会事務局となるので、鳥取市のホームページ上でということになる。

3つ目。第2回の東部地区教科用図書採択協議会の議事録は、第1回の議事録と合わせて、委員の皆様を確認させていただきたいと思う。送付をする。

4点目。教育長会議での確認の通り、採択結果、名簿、議事録などについて公開する。調査員の作成資料については、開示請求があれば、開示に応じるという形になっているのでご承知ください。それから各地教委が作成された情報以外であっても持っていれば開示の対象となるということになる。東部地区採択協議会で作成した資料については、同様のものを各地教委に渡しているのをそれをもとに各地教委で採択協議を行っていただくようお願いする。よって東部地区採択協議会に開示請求があっても、各地教委に開示請求があっても、開示する情報は同じになるということでご理解をお願いする。最後に各地教委で情報公開条例が異なることによって、開示請求者が不利益を得るようであれば、他の地教委に対して開示請求をしていただくようにしていただければというふうに思うので、そののところを知っておいていただければということ。事務連絡については以上となる。

〈会 長〉ありがとうございました。ご質問等はあるか。

〈委 員〉来週明けに委員会を開くのだが、そのときに委員の皆さんに示す資料は、どういう資料があるか。

〈事務局〉こちらの方で本日の採択、結果を受けて、まとめさせていただく資料を各地教委に送らせていただくので、それをもとにご説明いただくような形でお願いする。

〈委 員〉先ほどの9月1日の公開は市のホームページの方でということ、採択協議会ということで、最初の会議をした時に、リンクは市町村教育委員会とか市町村の方のホームページから飛べるような形でみたいなことをおっしゃったように思うがどうか。

〈事務局〉確認する。

〈会 長〉していなかった。もうそこで一本ということだと思っていた。

〈委 員〉はい。

〈会 長〉その他、いかがか。また何かあったら市の事務局の方をお願いする。

〈事務局〉今日の採択の結果を受けてそれぞれの次の教育委員会での対応をよろしく願います。

最終的に県への報告は各地教委の方が、県の文書回答の方でしていただくことになる。最終は各地教委ということになるのでそこもご承知いただければ。長時間にわたり慎重審議ありがとうございました。では閉会にあたり、藪田副会長にお願いする。

〈副会長〉皆さん本当に長時間、慎重審議ありがとうございました。55名の調査員の先生、そして、鳥取市教育委員会事務局の皆さん、本当にご苦労をおかけした。もう少しお世話になるが、よろしくお願ひしたい。

今回はこれで終わりになるが、あとは、それぞれの教育委員会でよろしくお願ひしたいと思う。本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

〈全 員〉ありがとうございました。

5 閉 会